



名瀬小だより

10月号

学校教育目標

自分・友だち・まちがすき

自ら学び 未来へとかがやく名瀬っ子

令和2年9月30日

横浜市立名瀬小学校

校長 中嶋 孝宏



自分と向き合う

校長 中嶋 孝宏

9月25日に保護者懇談会を行いました。ご来校いただき誠にありがとうございました。本校の目標や教育内容について、子どもたちの様子もまじえながらお話してきたことを嬉しく思います。

また、些細なことでも、子どもたちの「自分を大切にしたい行動」に声をかけていただきたいという話をいたしました。引き続きよろしくお願いします。

9月に入っても暑い日々が続いておりましたが、下旬になり急に涼しくなり「寒い」と感じる日もありました。近年、春や秋といった過ごしやすい季節が少なくなっている感があります。異常気象といった自然の猛威を受け止め、日常の在り方、過ごし方も考えさせられる今日この頃です。

9月15日に、5年生がふれあいコンサート・横浜美術館に行ってきました。感染拡大防止の制限を受けながらも、学校からバスに乗り、横浜美術館へ、3年に1度開催される芸術祭「ヨコハマトリエンナーレ2020」を観ることができました。右の写真はアメリカの住宅の庭に飾られる「ガーデンスピナー」と呼ばれるものだそうです。「うわあ、すごい！」と子どもたちはアートから感じた感覚を楽しんでいました。その後、周辺散策をし、美術館前の芝生で、グループになって食事をとりました。距離を取りながらでしたが、楽しく食べている笑顔がステキでした。午後はみなとみらいホールに行きました。ふれあいコンサートでは今年から新たにベートーベンの「運命」も演奏され、オーケストラの白熱した演奏に「すごい」と感じた人も多かったです。「感性を高め、仲間と楽しく過ごす」という目的を見事に果たすことができたのではないのでしょうか。5年生の今後が楽しみです。



6年生はクラブ、委員会、名瀬リンピックのソーラン節などの活動を通して、最上級生として自分ができていることに集中しています。「ペア学年」の1年生への掃除の支援や仲間活動では「お兄さん、お姉さん」として温かく接し、1年生の嬉しそうな顔と、6年生の見守る笑顔がとても印象的でした。今後の成長が楽しみです。他の学年も制限がある中、運動会の今年バージョン「名瀬リンピック」に向けて取り組んでいます。10月6日は1・6年生、7日は2・4年生、8日は3・5年生が実施いたします。参加制限がある中ではありますが、保護者の皆様をお待ちしております。

寒さが増す季節となってまいりました。今年は特別な状況下ですが、ピンチをチャンスに、今の時期を大切に一人ひとりが「自分と向き合い」日々の学校生活を充実してまいります。保護者の皆様、地域の皆様、引き続きご支援ご協力をよろしくお願いします。

